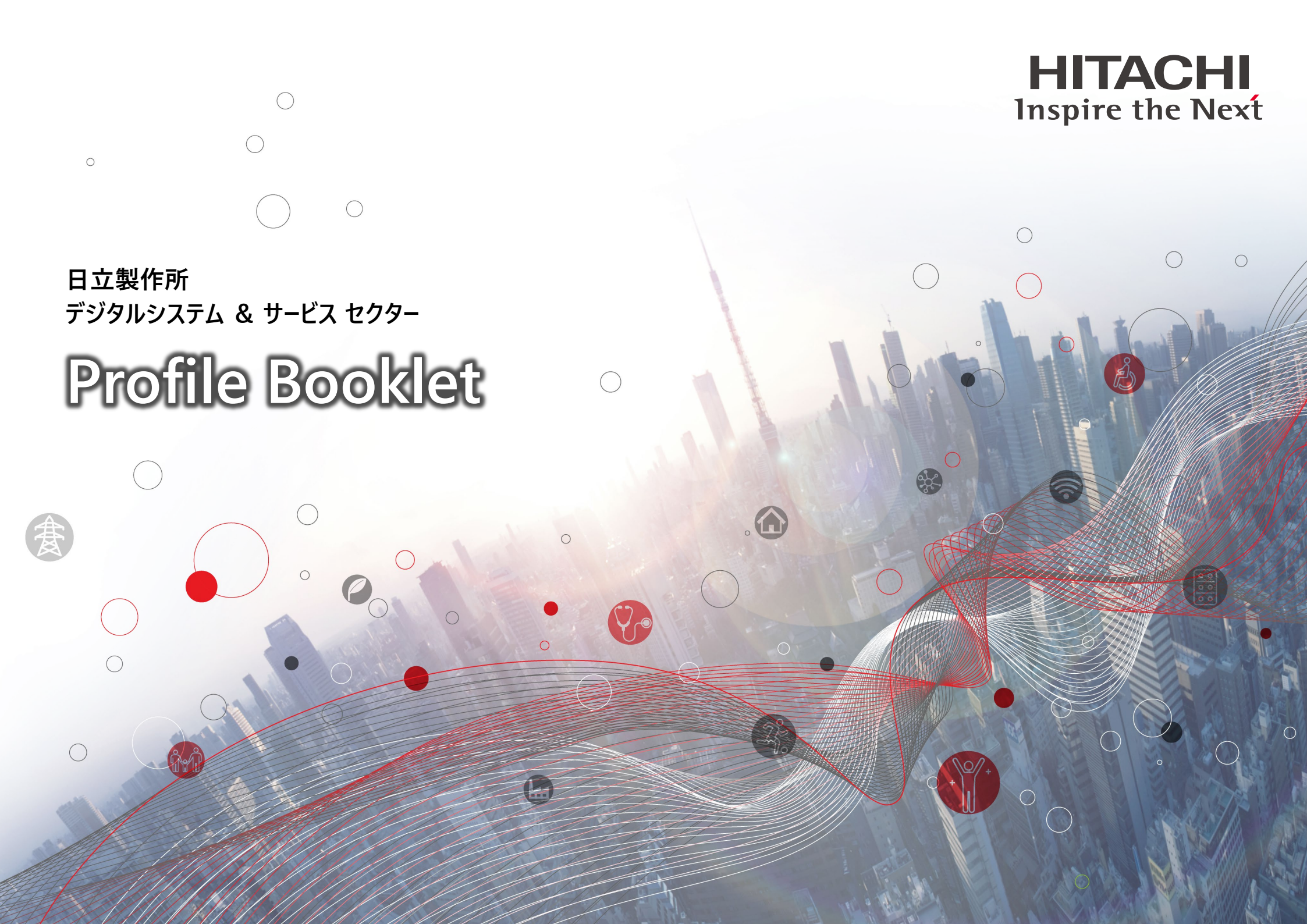


日立製作所
デジタルシステム & サービス セクター

Profile Booklet





Digital for all.

地球環境を守りながら、豊かな暮らしも実現したい。
両立の鍵は、デジタル。
デジタルの力を、すべての人たちのために。

日立がめざしているのは、
持続可能な地球環境と、快適で豊かな暮らしが
両立できる未来です。
その両立の鍵がデジタルの力だと考えています。

日立は、企業の経営や事業、金融・公共などの
社会サービス、そして、これまで支え続けてきた社会インフラに
デジタルを融合し、変革をもたらす社会イノベーション事業で、
社会に新たな価値を提供していきます。

そして、これをOne Hitachiで推進する機軸となるのが、
私たちデジタルシステム&サービスセクター(DSSセクター)です。
私たちには、課題やニーズを理解して新たな体験を生み出す
デザイン力、迅速なサービス開発力、クラウドなどのノウハウを
生かした実装力と運用力、AIなどの先端技術を駆使する
柔軟性があります。そして蓄積してきた知見や技術を結集し、
データから新たな価値を生み出すLumadaを核として、
世界の皆さんとともに、サステナブルな社会の実現をめざします。

日立のデジタル - at a glance - Lumadaを核に、お客さまとの協創でサステナブルな社会の実現に貢献

社会とともに進化してきた歴史



お客さまと社会のDX※を加速する デジタル人財



先進技術・ナレッジの提供 GlobalLogic※のケイパビリティ



Lumada事業
売上年平均成長率



Lumada事業の成長は、お客さまとともに変革を起こしてきたことの証

Lumadaは、“Illuminate(照らす・輝かせる)”と“Data(データ)”を組み合わせた造語です。

お客さまのデータに光をあて、輝かせることで、新たな知見を引き出し、お客さまと社会の課題を解決に導くLumadaを核に、日立の持つIT×OT※×プロダクトの優位性を最大限発揮。One Hitachiで社会イノベーション事業を加速することで、お客さまとともにサステナブルな社会の実現をめざしています。

※OT：Operational Technology (制御・運用技術)

お客さまとともに成長

お客さまに選ばれ、ともに事業を拡大



グローバルに広がる事業基盤

ボーダレスに社会インフラを支える



社外からの評価



DX銘柄企業の最上位に選定
DXプラチナ企業2024-2026*
電気機器業種から**初**選定 (2024)
DXグランプリ (2021)
DX銘柄 **3**年連続 (2021、2022、2023)

* 経済産業省、東京証券取引所および独立行政法人情報処理推進機構が選定する「デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX銘柄)」の中から3年連続でDX銘柄、過去にDXグランプリに選定された企業のうち、傑出した取り組みを継続している企業が選定されるもの

Contents

日立のデジタル	2	3章 Our Team	18
Top Message	4	事業体制	リーダーシップチーム 19
1章 About DSS	5	DSSの人	20
事業ビジョン・戦略	Our Vision 6	ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンへの取り組み	24
	Our Strategy 7		
事業体制	ビジネスユニット、主要グループ会社 9	4章 About Hitachi	25
2章 Our Business	10	日立グループの概要	26
沿革	デジタル事業の歴史 11	日立グループ・アイデンティティ	27
事業紹介	事業を通じた社会価値提供 12	DSSセクターの基本情報	28
事例紹介	CASE 1 “環境”への取り組み 13		
	CASE 2 “レジリエンス”への取り組み 14		
	CASE 3 “安全安心”への取り組み 15		
	CASE 4 “幸せな生活”への取り組み 16		
事業を支える取り組み	17		

※記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。



デジタルイノベーションの源泉は「人」と「テクノロジー」 世界中のお客さまの「DXパートナー」として

いま私たちは、デジタルの力による大きな変化の中にいます。中でも革新的技術である生成AIの登場は、過去に類を見ないパラダイムシフトをもたらし、日々進化し続けています。技術をうまく使いこなし、あらゆるものがデジタルでつながることで、社会や生活をより豊かなものにしていくことが期待されています。

日立は、1910年の創業より、「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という企業理念を掲げて、社会の発展と人々の暮らしの向上に向け、その時代時代における難題に取り組んできました。鉄道やエネルギー、金融、公共、製造・流通などあらゆる分野において社会インフラを支えてきた中で、IT、OT、プロダクトのノウハウを蓄積し、この日立ならではのIT×OT×プロダクトをベースに、お客さまや社会のDXに注力しています。

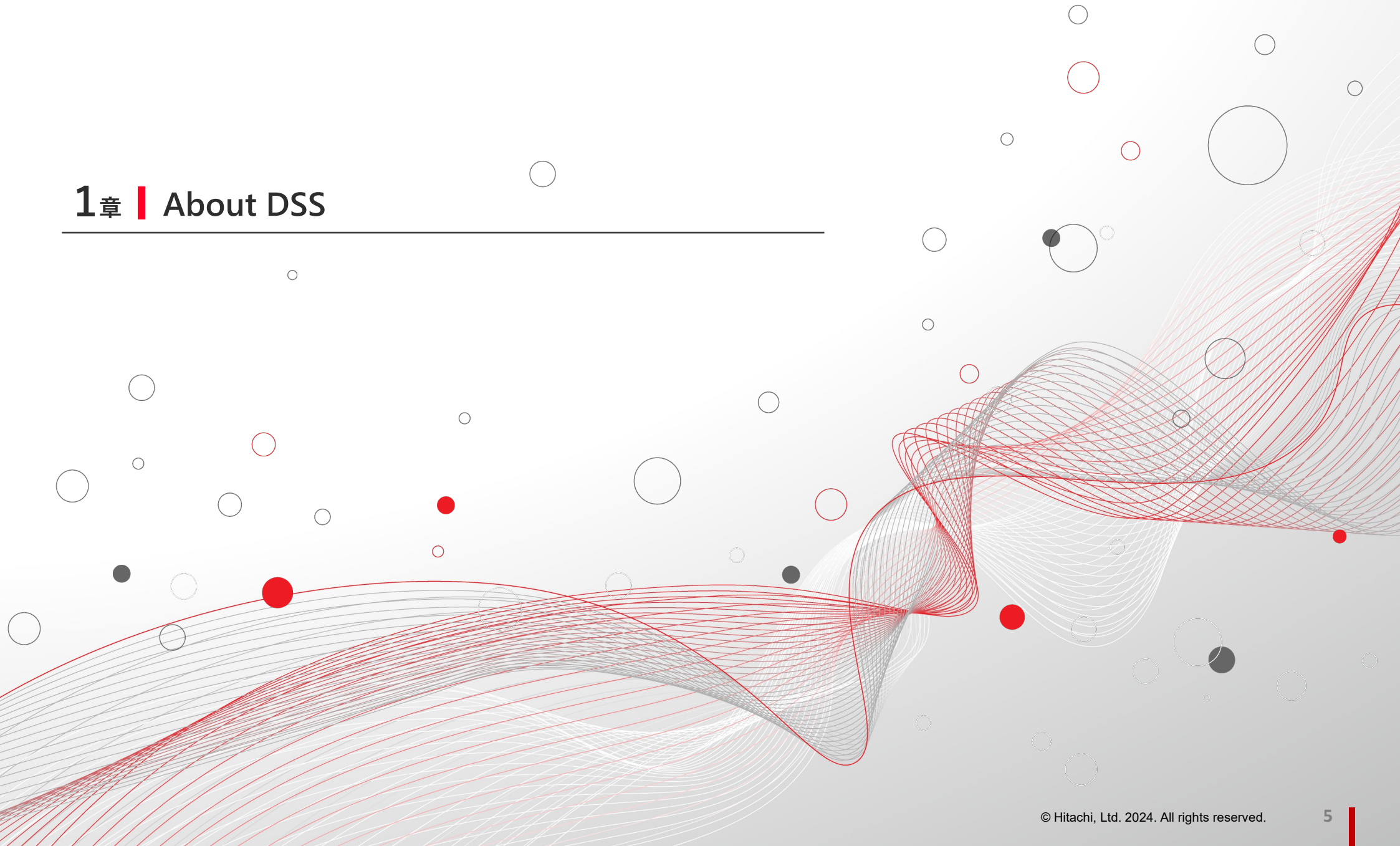
デジタルを通じて生み出すその価値をすべての人たちに届け、サステナブルな社会の実現に寄与したい。今後も、世界中のお客さまと未来を描く「DXパートナー」として、デジタルイノベーションの源泉となる「人」と「テクノロジー」で、お客さまの抱えるさまざまな課題に取り組んでいきます。

“Digital for all.”
デジタルの力を、すべての人たちのために。

株式会社 日立製作所
執行役副社長
デジタルシステム&サービス統括本部長

徳永 俊昭

1章 | About DSS



1章 | About DSS | 事業ビジョン・戦略

Our Vision

めざす姿

私たちがめざす未来は、“Digital for all.”—デジタルの力をすべての人々のために生かして実現するサステナブルな社会です。私たちが考えるサステナブルな社会とは、人類が生存できる安全な環境「プラネタリーバウンダリー」を守りながら、一人一人が幸せを実感できる「ウェルビーイング」が両立できている社会。この両立をめざして推進しているのが、IT×OT×プロダクトを組み合わせる「社会イノベーション事業」です。One Hitachiで社会イノベーション事業を推進していく鍵となるのはデータとテクノロジー、つまりデジタルの活用です。そのための仕組み・仕掛けであるLumadaを核として、デジタルの力でサステナブルな社会の実現に貢献していきます。



マテリアリティ

私たちは、めざす姿の実現に向け、ステークホルダーとの協創による持続可能な社会の実現と自身の成長をめざすサステナブル経営を実践しています。サステナビリティの観点でリスクと機会を分析し、ステークホルダーからのフィードバックを踏まえて特定した日立の6つのマテリアリティ(重要課題)とそれを構成する15のサブ・マテリアリティに、事業活動を通して取り組んでいます。社内のガバナンスの強化や、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DEI)の推進とともに、お客さまとの協創を通して、環境、レジリエンス、安全安心、幸せな生活といった持続可能な社会に求められる価値を継続的に創出していきます。

6つのマテリアリティと15のサブ・マテリアリティ



1章 | About DSS | 事業ビジョン・戦略

Our Strategy

日立のデジタル戦略をリード

日立は、「2024中期経営計画」の実現に向け、「デジタル」「グリーン」「イノベーション」を軸として、グローバルでの社会イノベーション事業のさらなる進化と成長をめざしています。その中で、デジタル戦略をけん引するのが私たちDSSセクターです。私たちは、長年にわたり、ミッションクリティカルなシステム構築を行ってきた金融分野や公共分野などのIT領域に加え、エネルギー分野、交通分野、製造分野といった私たちの優位性を発揮できるOT領域へのデジタル適用を進めています。また、世界各地域のお客さまの課題解決をデジタルで支援し、グローバルに事業を拡大しています。成長へのドライバーは、Lumadaと生成AI、そしてこれらを支えるデジタル人財です。3つの成長ドライバーを強化・拡充し、有機的に連携させることで、新たな価値を創出し、お客さま、そして社会のDXを加速します。

成長へのドライバー

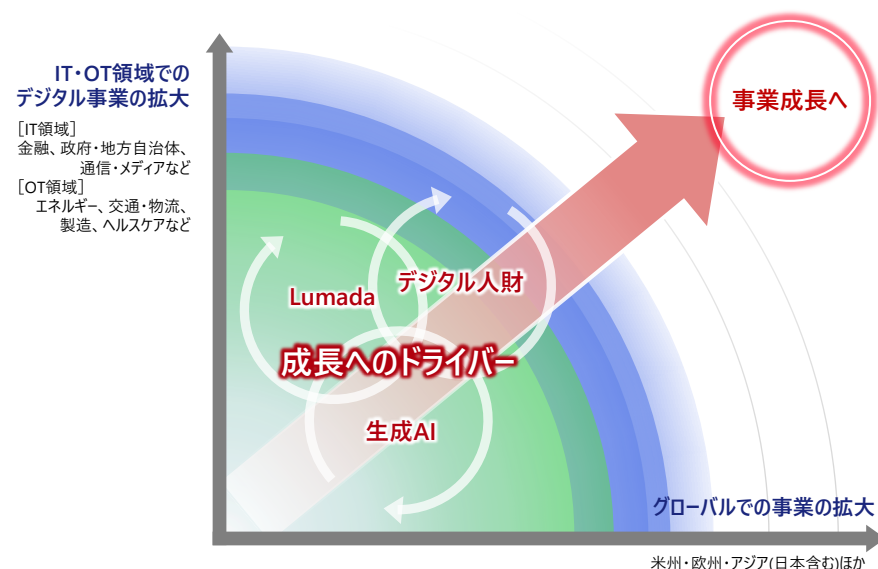
Lumada

Lumadaは、日立のIT×OT×プロダクトを活用してお客さまとともに社会課題を解決する「社会イノベーション事業」を推進するためのデジタル技術・ノウハウを結集した仕組み・仕掛けです。生成AIによる生産性向上や戦略投資による新たな成長機会の獲得などを通して、Lumada事業をグローバルに拡大し、お客さまの事業成長を継続的に支援します。

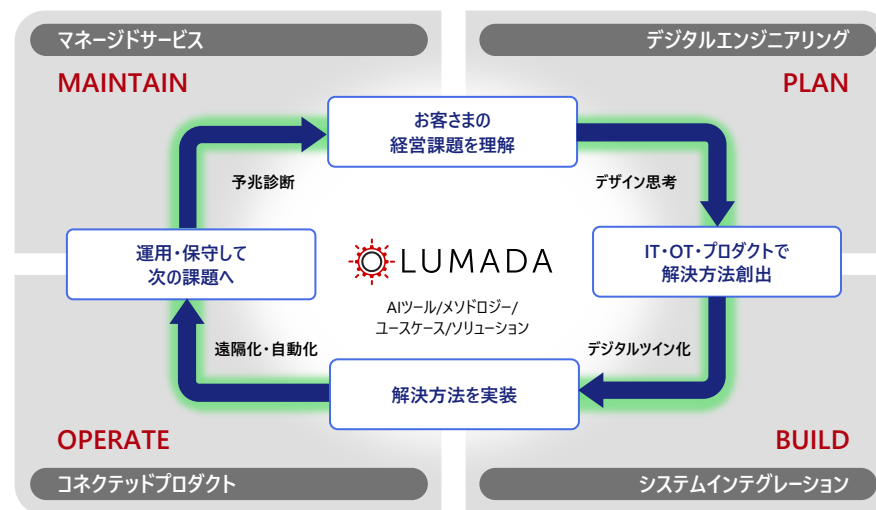
Lumadaの顧客協創フレームワーク

Lumadaの顧客協創フレームワークは、顧客課題の理解(PLAN：右上)から始まり、IT×OT×プロダクトを組み合わせたソリューションの創出・実装(BUILD：右下)、運用(OPERATE：左下)、保守(MAINTAIN：左上)という4象限のサイクルを、データとテクノロジーを活用して継続的に回しながらお客さまへの提供価値を高めていく循環型ビジネスモデルです。

4象限のどのフェーズを起点にしても、End-to-Endで価値協創のサイクルを回すことが可能であり、蓄積してきた豊富なアセット(AIツール、メソドロジー、ユースケース、ソリューションなど)を、お客さまの課題に応じて活用することで、新たな価値を素早く創出します。



データとテクノロジーの活用でお客さまビジネスの持続的な成長へ



1章 | About DSS | 事業ビジョン・戦略

Our Strategy

成長へのドライバー

生成AI

私たちは時代の転換点を生む先端技術を見極め、生かすことで変革を起こしてきました。

生成AIにおいては、安全・有効な利活用を推進するための組織「Generative AIセンター」を2023年5月に設立して以来、日立全社でAIトランスフォーメーションを推進し、生成AI活用のナレッジ・技術を蓄積してきました。そこに、豊富な実績を持つGlobalLogicの先進技術、IT領域やOT領域で培ってきたドメインナレッジ、高信頼プロダクトをベースとする生成AI共通基盤などの強みを掛け合わせて、幅広いお客さまの生成AI活用をトータルに支援します。さらに、テクノロジーパートナーとのエコシステムを通してこれらの強みを磨き、生成AIによるイノベーションを加速していきます。

生成AI活用のナレッジ・技術

日立全社で蓄積した生成AI活用のナレッジ・技術と10年以上にわたるGlobalLogicのAI分野での先進技術による価値提供

OT領域のデジタル化

OT領域のドメインナレッジや現場ノウハウを生かし、現場作業員の業務改善、技術・知識の伝承を生成AIで支援

AIイノベーションを加速するグローバルなパートナーング

NVIDIA、AWS、Google Cloud、Microsoftをはじめ、グローバル有数のテクノロジーパートナーとの戦略的アライアンスにより、エコシステムの構築を強力に推進。こうしたパートナーングを通じ、革新的なAIソリューションの共同開発や、生成AI・クラウドに精通した高度な人材育成に取り組み、生成AIによるイノベーションを加速

ミッションクリティカル領域での協創拡大

ミッションクリティカルな領域で培ったノウハウを生かして、大規模システム開発の生産性向上やお客さまの業務変革を生成AIで実現

生成AI共通基盤の構築

先進GPUと次世代ストレージ、ハイブリッドクラウドを生かした革新的な生成AI共通基盤の提供により、安全安心な生成AI活用を支援

GPU：Graphics Processing Unit

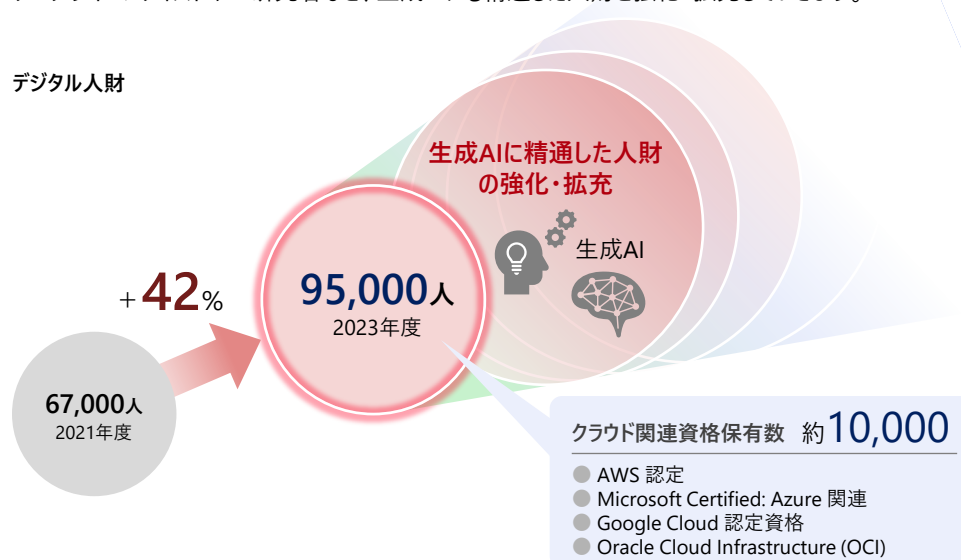
Google Cloudおよび関連するサービスはGoogle LLCの商標です

成長へのドライバー

デジタル人財

私たちは、クラウドやセキュリティに精通するエンジニア、OT領域のドメインエキスパートといった多様で高度なスキル・ノウハウを有するデジタル人財を、採用やM&Aによって獲得するとともに、独自のDX研修体系や実務経験を通して育成し、お客さまと社会の課題解決を支援してきました。今後は、グローバル研修プログラムによるアップスキリングを図ることで、生成AIに関する豊富な知見と高い技術力を有するデータサイエンティストやAI研究者など、生成AIにも精通した人財を強化・拡充していきます。

デジタル人財



Hot Topic



高度な生成AIスキルを持つスペシャリストを5万人以上育成

必要なスキル・経験獲得に向けた独自の研修やOJTを通じて、生成AI事業の拡大や生成AIを活用した業務の変革に貢献する高度専門人財の育成を推進しています。

1章 | About DSS | 事業体制

ビジネスユニット、主要グループ会社

私たちは、ビジネスユニット(BU)、主要グループ会社を3つのグループに編成し、事業活動を展開しています。

Hitachi Digitalが日立グループ横断でデジタル戦略の策定と実行を加速します。

フロントビジネスグループ

ミッションクリティカル領域の
IT/デジタルシステムの構築・運用

金融BU

銀行・保険・証券向け基幹システム構築・
運用、デジタルソリューション、サービスを提供



社会BU

官公庁・自治体などの公共分野、電力・交通・
通信などの社会インフラ向けシステム構築・運用、
デジタルソリューション、サービスを提供



ITサービスグループ

お客さまの業務のDXを
ソリューション、サービスでサポート

日立ソリューションズ

自社開発やグローバル標準のパッケージを組み
合わせて、業務効率・生産性向上や新事業
創出のためのソリューションを提供



日立システムズ

全国約300拠点を基盤としたシステム運用・
監視・保守を強みとし、ITライフサイクル全域を
カバーするワンストップサービスを提供



サービス&プラットフォームグループ

Lumadaをけん引するデジタルエンジニアリングとクラウド関連サービスの提供と、
AIやアナリティクスなどに関わるデジタル技術の開発

デジタルエンジニアリングBU

先進的なデザイン手法とデータ解析、生成AI
活用により、お客さまの課題の特定からシステム
開発まで包括的なサービスを提供

GlobalLogic

エクスペリエンスデザインとデジタルエンジニア
リングを強みに、DXサービスを提供



クラウドサービスプラットフォームBU

クラウドサービス、セキュリティソリューション、IT
プロダクツ(ストレージ・サーバー)を生かして、DXを
加速するデータインフラ基盤を提供

Hitachi Vantara

ストレージやハイブリッドクラウドなど、データを
安全に蓄積・活用する先端のデータインフラ
基盤を提供

Hitachi Digital Services

クラウドやIoTなどのケイパビリティをベースに、
OT×ITを実装するインテグレーションやマネージド
サービスをグローバルに展開



Hitachi Digital | 日立グループ横断でのデジタル戦略の策定と実行をリード

2章 | Our Business



デジタル事業の歴史

時代の変化に合わせて社会インフラを支えてきた私たちの歴史は87年になります。
そして、これからも、未来をデジタルの力でリードしていきます。

1900年代

日立製作所創業 | 1910



デジタル事業の起源戸塚工場発足
(通信関連機器 製造) **1937**

電子計算機 | 1959



列車座席予約システム | 1960

メインフレーム | 1965



新幹線運行管理システム | 1972

銀行第3次オンラインシステム | 1988

統合システム運用管理ソフトウェア「JP1」 | 1994



RAID *1ディスク装置 | 1995

日立ビジネスメディアサービス「TWX-21」 | 1997

2000年代

2023 | Generative AIセンター開設

2022 | Hitachi Digital、GlobalLogic Japan発足

2021 | GlobalLogic買収



2021 | ハイブリッドクラウドソリューション「EverFlex from Hitachi」

2020 | 大みか事業所が世界の先進工場「Lighthouse」*2に選出

2017 | Hitachi Vantara発足

2016 | 「Lumada」ローンチ



LUMADA

2015 | 人工知能技術
「Hitachi AI Technology/H」

2003 | 指静脈認証システム

*1 RAID：Redundant Array of Inexpensive Disks

*2 世界経済フォーラムが2018年から進めている、第4次産業革命をリードする先進的な工場を指定してDXの推進を支援する取り組み

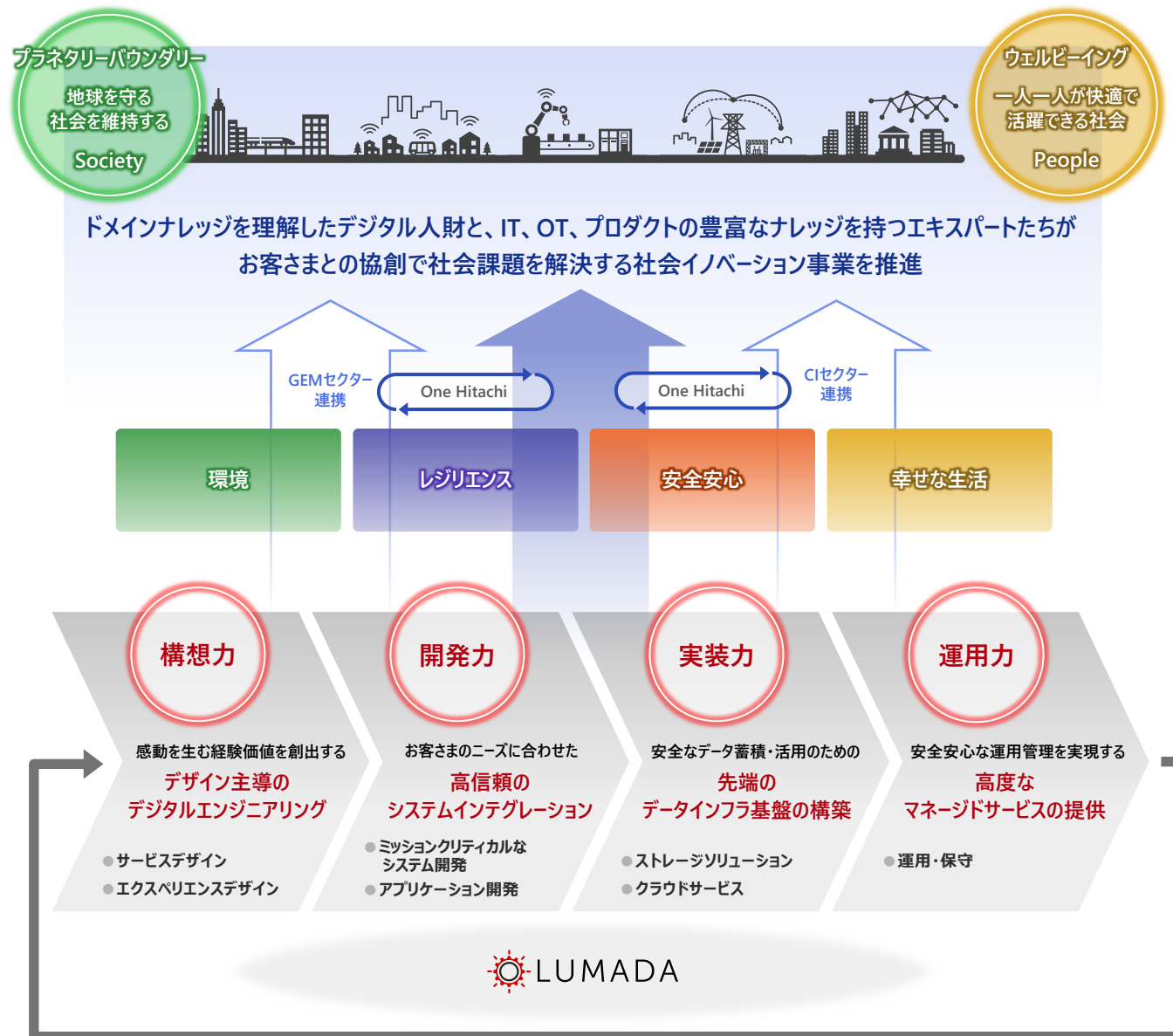
2章 | Our Business | 事業紹介

事業を通じた社会価値提供

私たちは、日立のマテリアリティに対して、DSSセクターの
 ケイパビリティを生かした事業に取り組むことで、社会に
 価値を提供しています。

急速に変化する社会において、お客さま、そして社会が
 必要とする価値を提供し続けていくために、私たちは、
 常にめざす将来像からバックキャストで貢献すべきイ
 ノベーション領域を特定し、社会インフラを支える事業を
 進化させてきました。

デザイン主導のデジタルエンジニアリングで新たな価値を
 創出する構想力、数々のシステム開発で培った高い
 開発力、安定稼働に導くクラウドなどのノウハウを生かした
 実装力、そして安全安心に使い続けていただくための
 運用力とプロジェクトマネジメント力。私たちの持つこれら
 の力を高め、Lumadaを核としてお客さまと協創していく
 ことで、金融・公共分野をはじめ、エネルギー、交通・物流、
 製造、ヘルスケア分野など、幅広い事業領域における
 課題を解決します。



CASE 日立のマテリアリティに対して、DSSセクターのケイパビリティを生かした事業を通じて価値を提供します

CASE マテリアリティ

1 “環境”への取り組み

▶ エネルギーの安定供給、再生可能エネルギーの活用促進

系統用蓄電池システムの構築で再生可能エネルギー導入を加速

電力系統に接続する蓄電池システムを核とした蓄電所を構築。電力の需要・供給のバランスに合わせた効率的な蓄電池制御により、発電量の変動が大きい再生可能エネルギーの有効活用と地域電力の安定供給を支援。

▶ 地域全体の脱炭素化を促進

脱炭素支援「大みかグリーンネットワーク」で社会インフラエコシステムを構築

自社の大みか事業所をフィールドに、地域・サプライチェーンのステークホルダーと連携したさまざまなGX*実証を行い、脱炭素化に向けた技術・ノウハウを蓄積しながら社会インフラエコシステムを構築。

* GX：Green Transformation

関連トピック

常陽銀行との協創：中堅・中小企業の脱炭素経営を支援

常陽銀行にて、日立の「EcoAssist-Enterprise」をベースとしたCO₂排出量を算出・管理するサービスである「エコサポ」と、エネルギーの見える化・最適化を支援するサービス「EFaaS(イファース)」の取り扱いを開始。脱炭素経営の支援を通して地域社会の持続的成長に貢献。

▶ サプライチェーンの脱炭素化を推進

自社のライフサイクルアセスメント(LCA)のノウハウをソリューション化し、お客さまのカーボンニュートラルを支援

神奈川事業所におけるLCAの取り組みやノウハウを「EcoAssist-Pro/LCA」としてソリューション化。原料の調達から、製造工程における燃料・電力の使用、製品の使用・廃棄に至るサプライチェーン全体を通じたCO₂排出量を、製品単位で精緻に自動算定・可視化することでカーボンニュートラルの実現を支援。



▶ サステナブルファイナンスの促進

ESG*¹投資を加速させる「サステナブルファイナンスプラットフォーム」の提供

複数の金融機関と連携し、IoT・ブロックチェーン・AIなど、さまざまなデジタル技術を活用したサステナブルファイナンスプラットフォームを提供。

グリーン・トラッキング・ハブ

エネルギーやCO₂削減量を可視化し、環境改善効果のMRV*²により環境投資の促進を支援

ESGマネジメントサポートサービス

企業内のESGデータの収集・可視化・分析の効率化によりサステナブル経営の強化に貢献

エンゲージメントサポートサービス

運用機関と上場企業を直接つなぎ、効率的な情報開示・対話を支援し、深い相互理解を促進

* 1 ESG：Environment(環境)、Social(社会)、Governance(ガバナンス)の頭文字を合わせた言葉

* 2 MRV：モニタリング/レポート/検証

▶ 再生材利活用促進によるサーキュラーエコノミーを実現

先進デジタル技術を活用した再生材の活用促進を通して、循環型社会の実現に貢献

品質の安定化が難しい廃材由来の再生材の品質リスクや物量変動などを加味し、再生材の買い手と売り手をマッチングする仕組み「再生材マーケットプレイスシステム」を開発。2025年度の事業化をめざし、取り組みを推進中。

CASE 日立の示すマテリアリティに対して、DSSセクターのケイパビリティを生かした事業を通じて価値を提供します

CASE マテリアリティ

2 “レジリエンス”への取り組み

▶ 電力インフラのレジリエンス向上

将来を見据えた日本国内の電力の安定供給に貢献

中央給電指令所システムを国内で共有化するシステムの構築で、全国エリア(沖縄エリアを除く)での給電ネットワークのレジリエンス向上と社会コスト低減を両立し、電力の安定供給に貢献。

▶ 社会インフラ保守プラットフォームの提供により国土強じん化に寄与

社会インフラの現場データを価値データに変換して維持管理のDX化を推進

社会インフラ保守における現場データをセンシングし、熟練作業員のノウハウやナレッジを基に独自技術で解析することで、これまで見えなかったものを見える化。暗黙知を形式知化する社会インフラ保守プラットフォームを提供。老朽化が進む道路・橋・トンネルなどの地上インフラや上下水道管・ガス配管・電力網などの地下インフラを維持するための保守人財不足、業務属人化などの社会課題の解決に貢献。さらに、平時だけでなく、大規模災害などの有事に適切に対応することで国土強じん化にも寄与。

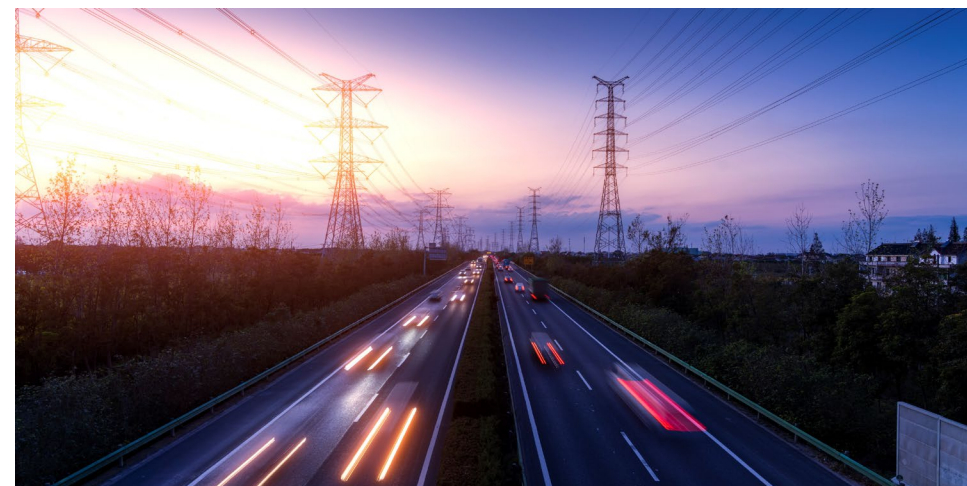
▶ ミッションクリティカルな大規模システムの開発で社会インフラを支える

高度安定稼働を誇る列車運行管理システムや座席予約システムで列車の安定運行に貢献

関連トピック

数理最適化技術で列車の遅延を予測：

運行管理システム上の情報をリアルタイムに収集・活用することで列車遅延時間を算定し、列車の未来走行予測に基づいた運行調整・案内を実現。数理最適化技術にAIを掛け合わせた独自開発の計画立案エンジンを生かした計画最適化サービスの提供を通して、計画業務のDX推進を支援。



▶ レジリエントなクラウド運用を実現

お客さまのクラウドシステムの課題改善を継続的に支援

Site Reliability Engineering(SRE)の手法を取り入れた、クラウド運用の継続的な改善を実現する伴走型サービス「Hitachi Application Reliability Centers (HARC)」を提供。オペラビリティ、レジリエンス、リリース管理、インシデント管理、スケーラビリティの5つの観点からお客さまのシステムの課題を抽出・分析し、お客さまに伴走しながら課題の解決作業を実行。Hitachi Digital Servicesが欧米市場に対して先行して提供してきたノウハウと、急増している国内実績のベストプラクティスを融合することで、お客さまの多様なニーズに対応。

▶ DXによる金融機関のデジタルシフトに貢献

融資業務のデジタル化で、金融機関におけるデジタルシフトの加速に貢献

金融機関とその取引先だけでなく、融資取引に関わるあらゆる民間ステークホルダーを対象に、申し込みから、保証会社との審査連携、契約、融資実行後の管理までの一連の融資業務を、「金融機関向け融資DX推進サービス」として提供。Webを活用した非対面化やトラストサービス連携などで金融機関取引における個人・法人融資両面のデジタルシフトの加速に貢献。

CASE 日立の示すマテリアリティに対して、DSSセクターのケイパビリティを生かした事業を通じて価値を提供します

CASE 3 マテリアリティ
“安全安心”への取り組み

▶ 安全安心な暮らしを支援

デジタルを活用した「次世代未来都市(スマートシティ)」の実現をめざす

多様な産業領域で培った業務ノウハウや、加速度的に成長する生成AIなど最新のデジタル技術を活用しながら、都市・産業の成長と人々のウェルビーイングを両立し、持続可能な社会を実現。

関連トピック

日立市との協創：

デジタルを活用しながら、グリーン産業都市、デジタル健康・医療・介護、公共交通のスマート化を軸として、日立市の活性化と住民の安全安心な暮らしをめざし、Society 5.0の実現に向けたモデルケースづくりとして共創プロジェクトを推進中。

▶ 生体認証を活用した安全安心・便利な生活を支援

独自の技術で安全安心・便利な本人認証を実現

指静脈、顔、虹彩といった多様な生体認証で、安全で手軽に本人であることを証明する「生体認証統合基盤サービス」を提供。特許技術PBI*を適用した生体認証のクラウドサービスで、生体情報そのものを保存せずに認証を実現。

* PBI: Public Biometric Infrastructure(生体認証技術とPKI電子署名技術を融合させた、新しい公開鍵認証基盤)

▶ サイバーセキュリティ対策によるサプライチェーンの強じん化

オープンソースソフトウェアの脆弱性を狙うサイバー攻撃対策を支援

SBOM*を一元管理することでソフトウェア・サプライチェーン上のセキュリティリスクを可視化し、ベストプラクティスの適用や情報分析・活用を行うプラットフォームを提供。SBOM管理ツールの環境構築や運用支援はもちろん、基礎教育などの実施で、組織のSBOMに関する知識レベル向上も支援。

* SBOM : Software Bill of Materials(ソフトウェア部品表)



▶ すべての旅客の安全安心な移動を支援

車いす、白杖をご利用の乗客をサポートする駅係員のご案内業務をデジタル化

列車乗降サポート業務をシステム管理し、案内業務の現場での使い易さにこだわったアプリケーションを提供。駅係員の対応効率向上・ヒューマンエラー防止を実現、すべての旅客の安全安心な移動を支援。

▶ 高度なセキュリティ対策により事業継続を支援

進化・多様化するサイバー攻撃から情報資産と事業を守るセキュリティ対策

日々進化・多様化する情報セキュリティにおける脅威に、防御技術、運用監視、対策体制の強化で備えるサイバーセキュリティソリューション「SHIELD」を提供。平時から有事にわたり、お客さまのセキュリティ業務を総合的に支援。

CASE 日立の示すマテリアリティに対して、DSSセクターのケイパビリティを生かした事業を通じて価値を提供します

CASE マテリアリティ

4 “幸せな生活”への取り組み

▶ がん罹患した従業員とその家族への包括的なサポートによるウェルビーイング向上

職域の従業員を当事者としたがん生態系システムの構築でがんを取り巻く社会課題の解決に貢献

アフラック生命保険とともに、GlobalLogic Japanのデザイン思考によるデジタルエンジニアリングを活用し、職域版がん生態系システムの構築を協創。当事者となる従業員視点で、がんを取り巻く社会課題の解決に向けて、取り組みを推進中。

▶ 世界6,800万人が利用する魅力的な注文体験

お客さまごとのデジタルジャーニーをEnd-to-Endで支援

デザイン思考で利用者のニーズを出発点に、世界的なハンバーガーチェーンのマクドナルド・コーポレーションの新しいオーダーシステムをデザイン設計。グローバル共通のオーダールールを設定し、世界中のどの店舗でも一貫性のある顧客体験の提供を実現。

▶ 金融インフラ構築を通じてインド国民のQoL向上に貢献

ファイナンシャルインクルージョンを通して国家プロジェクト「Digital India」に貢献

デジタル化で国全体を知識経済社会へと変革していく国家プロジェクト「Digital India」の注力分野の一つ「金融」において、Hitachi Payment Servicesが、安全安心、かつ利便性の高い多様な決済サービスを提供。社会や暮らしに寄り添い、デジタル技術を通してインド経済における各層のニーズ(現金+デジタル)に対応するさまざまなソリューションの提供を促進。



▶ PHR*1サービスを起点に健康なまちづくりに貢献

地域回遊や地域経済の活用によるインセンティブ付与の仕組みの構築で住民の健康増進を支援

「すべての人が健康でいきいきと笑顔で暮らせるまち」を将来像に掲げ、健幸都市をめざす福岡県飯塚市と日本ウェルビーイングコンソーシアム*2の設立企業合同の業種間連携による実証事業で、同市の課題である健康無関心層の活動量の増加と行動変容を促すサービスの有用性を確認。本事業をモデル化し、自治体および企業に展開中。

*1 PHR：Personal Health Record。個人の健康診断結果、服薬履歴、日常生活でのバイタルデータ等などの保健医療情報

*2 2023年7月27日にウェルビーイングの推進を目的に健康、医療サポート、ウェルネスツーリズムの分野で日立システムズ、インテグリティ・ヘルスケア、ANA X、サワイグループホールディングスで設立したコンソーシアム

▶ 生涯を通じた全世代型予防・健康づくり

健康・医療情報の横断的集約・活用による健康事業推進に貢献

健康寿命の延伸や医療費適正化をめざし、複数の保険制度から横断的にデータを集約した健康・医療情報分析プラットフォームを自治体向けに構築。地域の健康課題などを効果的・効率的に分析し、市町村の保健事業推進に貢献。

事業を支える取り組み

私たちは、グローバルに社会インフラを担う企業として、社会から信頼される高い倫理観をもって企業活動を行い、人権を尊重し、安全な職場環境を提供する誠実な経営を遂行しています。その徹底に向けた仕組みを事業活動および意思決定の基準に反映し、従業員や協創パートナー、コミュニティとともにサプライチェーン全体で取り組んでいます。



コーポレートガバナンス

多様なステークホルダーとの良好な関係が企業価値の重要な一部を形成すると認識し、建設的な対話を促進する施策を実施するなど、経営の意思決定のプロセスの中にサステナビリティの視点を取り込み、企業価値向上につながる体制整備に取り組んでいます。



企業倫理・コンプライアンス

企業倫理・コンプライアンスは会社を支える基盤であると考え、公正で透明性の高い、誠実な経営を推進し、従業員が最大限のパフォーマンスを発揮一人一人が倫理的に行動できる風通しの良い環境づくりに取り組んでいます。また、コンプライアンス強化を目的に、独自のプログラムも推進しています。



人権

人権の尊重は企業としての責務であり、事業活動を行う上で不可欠であると考えています。また、人権への影響について正しく把握し対応するため、ステークホルダーとのエンゲージメントを重視しています。企業活動においても、差別や個人の尊厳を傷つける行為を行わないよう努めています。



労働安全衛生

「安全と健康を守ることは全てに優先する」を基本理念とする「日立グループ安全衛生ポリシー」の下、調達パートナーを含む関連会社と連携しながら、すべての人にとって安全安心・快適で健康な職場づくりに取り組んでいます。



品質保証

「基本と正道」「損得より善悪」という価値観を大切に、「品質、信頼性第一」を徹底しています。失敗を分析して徹底的に学ぶことを通して、技術を発展させる「落穂拾い」の精神に基づき、品質保証活動に取り組んでいます。



情報セキュリティ

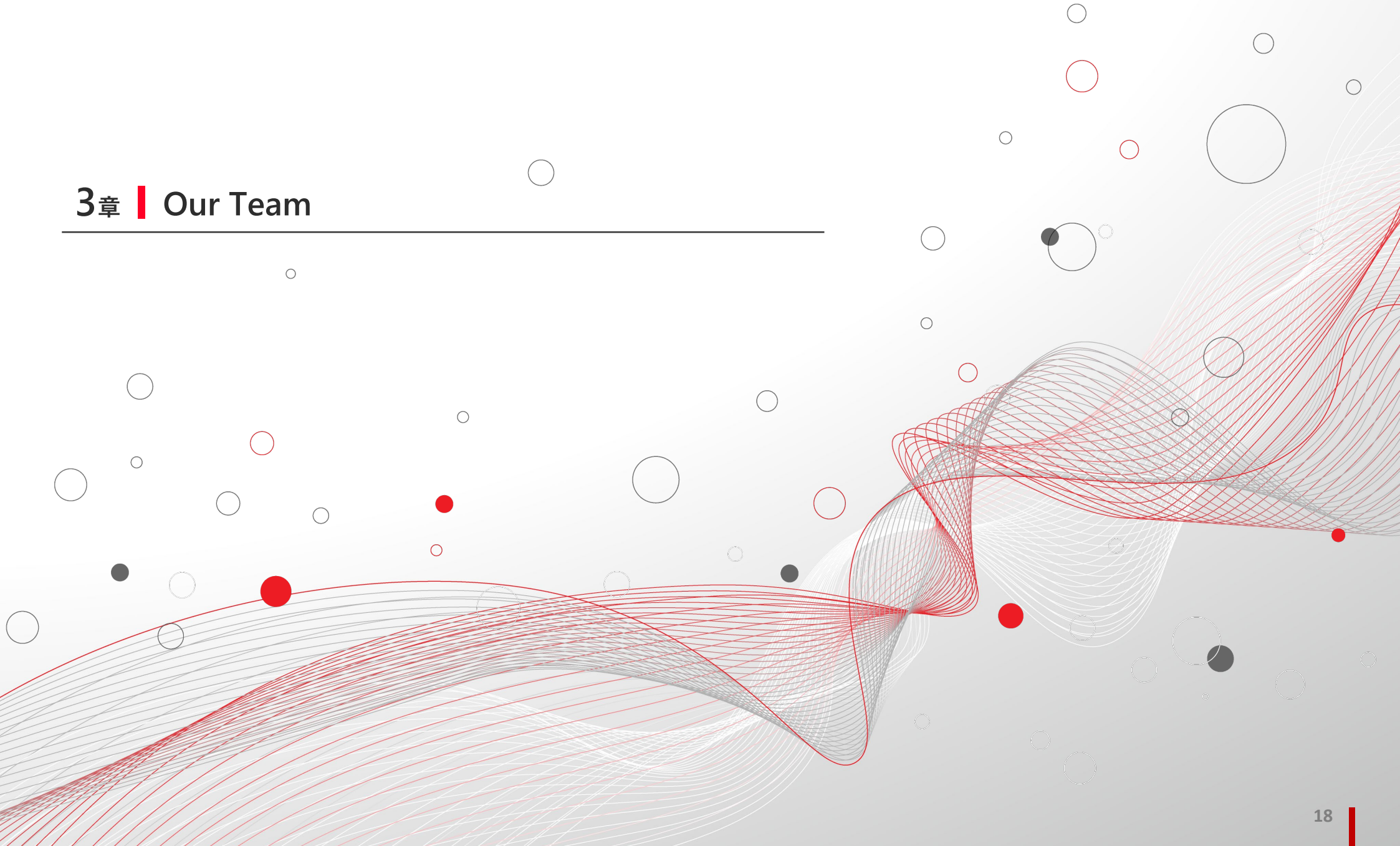
デジタル化の進展で新たな価値が生み出される一方、日々巧妙化するサイバー攻撃で事業継続に支障を来すリスクが増大しています。価値創造とリスクマネジメントの両面からサイバーセキュリティ対策に努めることを重要な経営課題の一つと位置付け、情報セキュリティに取り組んでいます。



責任ある調達

サステナブル調達を推進し、サプライチェーンにおける調達パートナーの人権侵害や温室効果ガスの排出など、ビジネスのグローバル化に伴うサプライチェーン上の調達リスクを可能な限り事前に把握・軽減するよう努めています。

3章 | Our Team

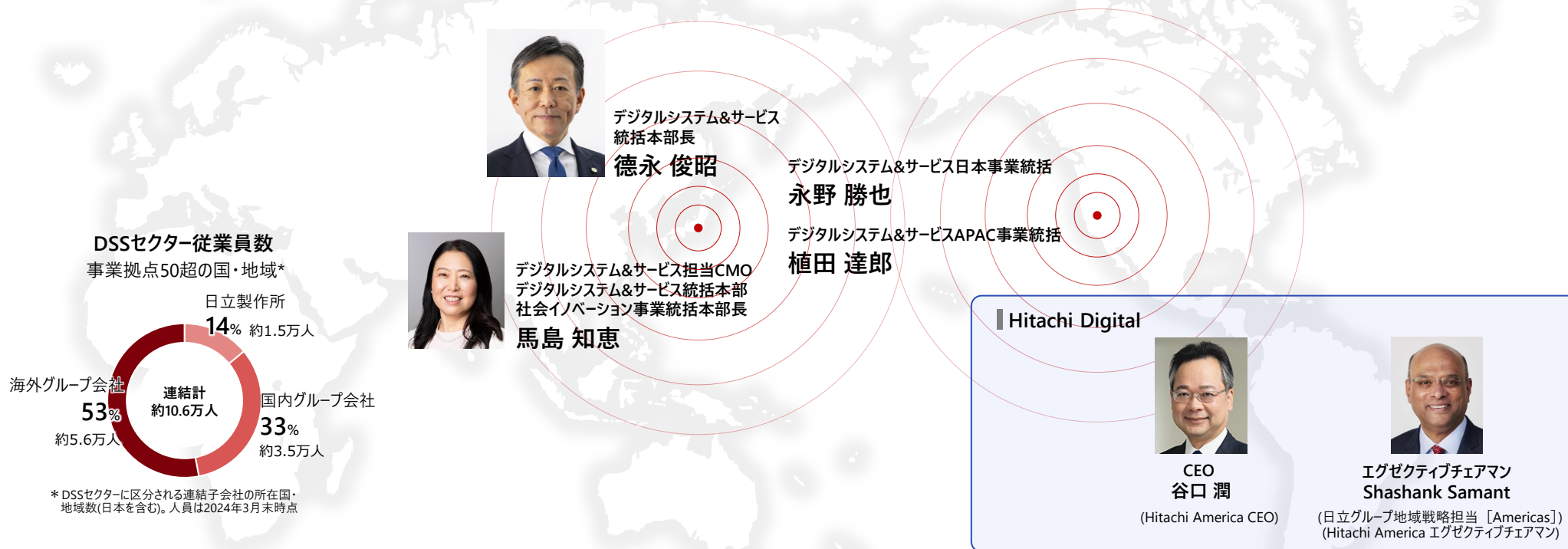


3章 | Our Team | 事業体制

リーダーシップチーム

総勢約11万人の従業員が、50を超える国や地域でDSSセクターの事業を遂行しています。

めざす未来を実現するために、リーダーシップチームがデジタル事業を迅速にグローバル展開しています。

BU・
主要グループ会社

金融BU



CEO 植田 達郎

社会BU



CEO 永野 勝也

日立システムズ



社長 柴原 節男

日立ソリューションズ



社長 山本 二雄

クラウドサービス
プラットフォームBU

CEO 細矢 良智

Hitachi Vantara



CEO Sheila Rohra

Hitachi
Digital Services

CEO Roger Lvin

デジタルエンジニアリングBU
/GlobalLogic

CEO Nitesh Banga

3章 | Our Team | DSSの人

DSSの人

人財こそがDSSの価値の源泉。さまざまな領域でのノウハウ、スキルを有した多様な人財がお客さまとともに社会に価値を提供します

DXコンサルティングで 社会・お客さま・日立の「三方よし」

デジタルビジネスプロデューサー

森 直樹 [デジタルエンジニアリングBU]



■ **私の仕事** お客さまの経営課題をDXで解決しています。特に、電力・製造・物流市場におけるOT領域のDXコンサルティングを担当しています。過去に従事したモノづくり設計の経験を生かし、ドメイン知識とAIデータサイエンス技術をてこに、お客さまと協創しながら、共同研究などを経てDXの推進・加速、価値創出につなげています。

■ **社会への提供価値** 電力・水道・鉄道分野の経営課題であり、社会問題でもある設備の老朽化に対して実現可能な保全・更新計画の立案を支援するほか、物流業界の高齢化に伴う人財不足をDXによる効率化で解決しています。DXコンサルティングを通して社会インフラの強じん化を促し、社会・お客さま・日立の「三方よし」を実現します。

現場の代弁者として 感動を生む経験価値をデザイン

デザインリサーチャー

篠倉 美紀 [デジタルエンジニアリングBU]



■ **私の仕事** デザインリサーチャーの役割は、お客さまの現場に入り込んで、ユーザーの業務を理解し、課題やニーズをインタビューや観察といった調査手法を用いて発見することです。調査から得られた洞察を基に、デザイナーと一緒にお客さまやその先にいる人の経験価値を向上させるデザインコンセプトを導出します。

■ **社会への提供価値** お客さまの現場を深く理解している「現場の代弁者」として、本質的な課題を見失うことなく、価値ある体験をもたらすソリューションやサービスをデザインすることを大切にしています。心を動かす豊かな顧客体験を生み出すことは、社会全体のウェルビーイングにつながる重要なことだと考えています。

最適解を導く ビジネスと技術の橋渡し役に

データサイエンティスト

石田 沙友里 [デジタルエンジニアリングBU]



■ **私の仕事** データサイエンスの手法と技術の応用で、業務効率化・満足度向上といった顧客課題や社会インフラ維持などの社会問題の解決を支援しています。ビジネスと技術の橋渡し役として、綿密なコミュニケーションによりお客さまのビジネス・業務を深く理解した上で、適切な技術を検討し、お客さま視点での価値を提供しています。

■ **社会への提供価値** データという膨大な情報の羅列から本質的な価値を見だし、お客さまや社会の課題に対する最適解を導き出すことが、データサイエンティストの提供価値であり、使命だと考えています。データから得られた知見や洞察を生かした課題解決により、お客さまのビジネスの拡大や社会イノベーションの実現に貢献しています。

お客さまの課題を言語化し デザインので最適解を協創

デザインストラテジスト

木幡 康幸 [デジタルエンジニアリングBU]



■ **私の仕事** デザインする対象が明確になっていない、何をしたいのかわからないお客さまの課題を引き出し、「何をデザインするか」をお客さまやチームと一緒に定義していくことがデザインストラテジストの主な仕事です。これを後続の体験やユーザーインターフェースなどのデザイン、開発・実装につなげていく役割を担っています。

■ **社会への提供価値** お客さまへの新サービスを検討する際、その先にいるエンドユーザーやお客さまの従業員、関係ステークホルダーなど、可能な限り視野を広げ、関わる人たちにどのような体験価値を提供できるかを模索しています。部分最適ではない、社会にポジティブなインパクトを与えられることをめざしています。

信頼性の高い生成AI戦略で AIサービス利用を促進

生成AI 設計エンジニア

Maria Aretoulaki [GlobalLogic]



■ **私の仕事** 長年にわたりAI関連技術に携わっています。ボイスボットやチャットボットなどの対話型AIサービスを複数の言語で設計し、企業や政府に提供しています。プロンプトエンジニアリングやナレッジエンジニアリング、AI倫理やAIポリシーを重視した透明性の高い、安全で信頼できる生成AI戦略をリードしています。

■ **社会への提供価値** AIの正確性が問われる今、コンピューターサイエンスやデジタルエンジニアリングを言語学と掛け合わせることは非常に重要です。信頼性のあるユースケースやプロンプト設計を行い、AIの透明性を高めるとともに、企業や政府によるAIポリシーなどの標準化活動にも関与することでリスクを排除し、安全なAI利用を促しています。

高度なAIソリューションにより ユニークな課題解決を導く

AIエキスパート

Igor Manzhos [GlobalLogic]



■ **私の仕事** 幅広い業界におけるコンピューターサイエンスやAIソリューションの開発に取り組んでいます。ソリューションアーキテクト、また、テクニカルリードとして、生成AIや機械学習、クラウドアーキテチャーを活用し、他社にはできない課題解決へと導く信頼性や拡張性の高いシステムを開発しています。

■ **社会への提供価値** 組織において、効率化を図り、イノベーションを促進することで、意思決定の加速や業務効率の向上を支援しています。AIを活用して重要なビジネス課題の解決に取り組み、そこから得た知見を社会に広く共有しながら、先端技術や継続的な学習により進化する高度なAIソリューションの開発に貢献します。

3章 | Our Team | DSSの人

DSSの人

人財こそがDSSの価値の源泉。さまざまな領域でのノウハウ、スキルを有した多様な人財がお客さまとともに社会に価値を提供します

構成検討から運用まで トータルにクラウド活用を支援

シニアクラウドアーキテクト

早川 裕志 [クラウドサービスプラットフォームBU]



■ **私の仕事** クラウドのスペシャリストとして、提案活動や技術コンサルティングを行っています。ビジネス課題やセキュリティ要件を踏まえたアーキテクチャー検討からシステムの設計・開発、運用までトータルにお客さまを支援しています。また、社外の技術イベントなどを通して自社技術力のPRやハイスキル人財の育成にも携わっています。

■ **社会への提供価値** クラウドは適切に活用すればビジネスのアジリティやレジリエンスの向上など、数多くのメリットを享受できますが、そのためには専門的な知見やスキルが不可欠です。国内外で社会基盤を担うお客さまの課題解決やDXを通して、クラウドの恩恵を一人でも多くの人に届けるお手伝いをしています。

明るい未来につながる SREによるクラウド運用の改善

SREエンジニア

河内山 春奈 [クラウドサービスプラットフォームBU]



■ **私の仕事** システム運用の自動化を推進するSRE手法でクラウド運用の継続的な改善と成熟度向上を支援するHitachi Application Reliability Centers(HARC)のプロモーション活動をはじめ、お客さまへの提案から納入まで幅広く対応しています。お客さまの運用課題の解決に向けて寄り添った支援ができるよう取り組んでいます。

■ **社会への提供価値** クラウドの本格的な適用に伴い、信頼性や安定性、セキュリティに関する問題が増加し、運用負荷が増大しています。SREで運用モデルの変革を支援し、運用担当者の負担軽減を促すことで、お客さまは新たな付加価値を生むビジネスに注力できます。SREの取り組みは「明るい未来のためのもの」だと考えています。

SRE：Site Reliability Engineering

IT×OTのOne Hitachiで 製造業の社会イノベーションを加速

IT×OTストラテジスト

Anitha Rao Gadiyar [Hitachi Digital Services]



■ **私の仕事** お客さまのIT×OTのインテグレーションを支援しています。特に製造業のお客さま向けにIT×OTの戦略と実行計画の策定を行っています。また日立グループの一員として、お客さまにより良い提案ができるよう、さまざまな部門や地域と連携したOne Hitachiでの取り組みも推進しています。

■ **社会への提供価値** ITとOTを通してお客さま業務の効率化や最適化を行い、従業員の業務環境の改善を図っています。自動化やクラウド、AI、機械学習といった先端技術を活用することで、お客さまのサステナビリティ施策や安全衛生への取り組みを通して、地球環境の保全や人々のQuality of Lifeの向上に貢献しつつ、社会イノベーション事業を推進しています。

豊富な経験と40種保有の資格を 礎に高度な技術でセキュリティ対策

マスターセキュリティスペシャリスト

藤原 将志 [クラウドサービスプラットフォームBU]



■ **私の仕事** お客さま向け製品・サービスの脆弱性対策やセキュリティインシデント発生時の対応を行っているほか、日立グループ内のセキュリティ監視にも従事し、リスクの早期発見と対処を実施しています。高度化するサイバー攻撃の脅威に対抗するため、セキュリティコンテストへの挑戦やグローバルな資格取得など技術研さんにも継続的に取り組み、社外団体の委員や講演、大学講師などの活動にも力を入れています。

■ **社会への提供価値** 日立グループ全体でセキュリティインシデントの発生を予防し、万一のインシデント発生時にも迅速に対処することで、安全安心な社会の実現に寄与しています。また、自身の知見を生かして、社内外のセキュリティ人材育成にも貢献していきます。

「Hitachi iQ」でAIの 可能性を広げ社会課題解決

AI分野のチーフ・テクノロジー・オフィサー

Jason Hardy [Hitachi Vantara]



■ **私の仕事** AIソリューションのポートフォリオ「Hitachi iQ」の開発に取り組んでいます。また、ラスベガスの次世代エンターテインメントメディア「Sphere」の建設・運用や、ファイルストレージ技術の開発にも携わってきました。お客さまのAIの課題に継続的に取り組んできたノウハウを生かして誕生した「Hitachi iQ」を今後も成長させていきます。

■ **社会への提供価値** 「Hitachi iQ」は、お客さまに直接的な変化をもたらすだけでなく、AIサービスの進化を通して社会課題の解決に貢献します。今後さらなるAIの活用が予測される中、「Hitachi iQ」を通してAIの可能性を広げることで、社会課題を解決する社会イノベーション事業を加速し、より良い世界の構築に寄与します。

ソフトウェア・サプライチェーンの 強じん化に貢献

シニアOSSスペシャリスト

渡邊 歩 [日立ソリューションズ]



■ **私の仕事** SBOM(ソフトウェア部品表)を活用した信頼性の高いソフトウェア・サプライチェーンを構築するため、プロセス定義や運用体制の整備を支援する企業向けコンサルティングを行っています。また、OSSの安全な利活用やSBOM普及促進に向けて、エバンジェリスト活動を行っています。

■ **社会への提供価値** 誰もが利用できるOSSの安全な利活用や強じんなソフトウェア・サプライチェーンの構築は、社会のレジリエンスを高め、サイバーセキュリティなどの社会課題を解決する手段の一つです。社会を支えるソフトウェアの安全性が高まることで、私たちの生活はより便利に、豊かになっていくと信じています。

OSS：Open Source Software

3章 | Our Team | DSSの人

DSSの人

人財こそがDSSの価値の源泉。さまざまな領域でのノウハウ、スキルを有した多様な人財がお客さまとともに社会に価値を提供します

サステナブル経営を推進する お客さまに伴走

ドメインエキスパート
山口 琴音 [金融BU]



■ **私の仕事** サステナブル経営やESG情報開示を支援する「ESGマネジメントサポートサービス」の提案、導入支援に携わっています。お客さまの課題やめざしたいゴールに寄り添い、サービスの活用方法の提案から導入、運用まで支援しています。また、お客さまからいただいた声をサービス開発につなぎ、さらなるサービス向上に向けた企画にも携わっています。

■ **社会への提供価値** サステナブル経営の強化に向けては、戦略・ESGデータ収集と開示・改善施策の実行のサイクルを繰り返すことが重要です。戦略立案から実行支援までの一連を支援し、お客さまのサステナブル経営強化に貢献することをめざしています。

数理最適化技術で お客さまの迅速な意思決定を支援

シニアデータサイエンスエキスパート
佐藤 達広 [デジタルエンジニアリングBU]



■ **私の仕事** 入社以来、研究部門で「数理最適化技術」に取り組んできました。現在は長年の経験と技術を生かし、事業部門でお客さまの計画業務のデジタル化を支援しています。産業、流通、交通、インフラ、通信など幅広い分野で、お客さまのビジネスに関わるさまざまな意思決定の最適化をめざしています。

■ **社会への提供価値** 例えば鉄道では、運行が乱れた際に列車ダイヤを素早く修正することで車両や人員を効率的に活用し、旅客の利便性を確保できます。数理最適化技術を応用してヒト・モノなどのリソース活用を効率化することで、社会のムリ・ムラ・ムダをなくし、より良いサービスの提供につなげています。

社会インフラの効率的な 維持管理に貢献

ドメインエキスパート
竹島 昌弘 [社会BU]



■ **私の仕事** 入社以来、ほぼ一貫して新事業の創生に従事してきました。近年、道路、橋、水道といった社会インフラの老朽化が進む一方で熟練作業者の高齢化が大きな社会問題となる中、現場の状態をセンサーなどで収集して解析することで社会インフラを効率的かつ効果的に維持管理するための仕掛けづくりを進めています。

■ **社会への提供価値** 社会インフラのトラブルをIoTやAIを駆使して未然防止することで、安全安心、快適な生活環境を提供します。また、大地震などの大規模な災害が発生した際にも、現場の被災状況を迅速に把握し、必要な情報を提供することで、早期復旧を支援します。

品質保証の確かな技術力で 安心を提供

QAエンジニア
真鍋 仁志 [デジタルシステム&サービス統括本部]



■ **私の仕事** 国内向け上下水道監視制御システムの工場検査および現地試運転の品質保証業務を担当しています。また、2019年7月より国立極地研究所に出向し、発電機制御盤担当として、第61次 南極地域観測隊(越冬隊：2020年2月～2021年1月)に参加しました。

■ **社会への提供価値** お客さまごとの製品、運用状況に応じた現地試運転を遂行できる技術力・マネジメント力によって安心を提供します。南極昭和基地では、電力の安定供給は基地の生命線です。停電が発生すると大切な観測データに欠損が生じ、生活にも大きな影響が出ます。電力の安定供給という責任感と使命感を持ち、発電機エンジン担当者と協力し、無停電で任務を完遂できた経験を社会へと還元していきます。

ミッションクリティカルなシステムの 構築で社会に貢献

サーバーエンジニア
深井 優樹 [社会BU]



■ **私の仕事** 列車座席予約システムのサーバー構築に携わっています。ミッションクリティカルなシステムには、高度安定稼働が求められます。設計段階からあらゆるリスクを想定した検討を行い、十分な試験を実施しています。また、万が一の有事の際にも迅速に対応できるよう体制を整え、常に準備しています。

■ **社会への提供価値** システムを停止させることなく安定的に稼働させることをめざしています。また、時代の変化やお客さまのニーズに合わせた継続的な改善を通して、旅客にとって利便性が高く、ストレスのないサービスを提供することで、いつでも誰もが快適に移動できる社会インフラを支えています。

PHRサービスを起点に 健康な街づくりに貢献

ドメインエキスパート
小島 久美子 [日立システムズ]



■ **私の仕事** 産業・流通分野において、医薬・ヘルスケア事業の事業企画や協業・拡販業務を社内横断的に推進しつつ、自社の健康経営推進プロジェクトの一員として従業員の健康促進もサポートしています。また、日本ウェルビーイングコンソーシアムの事務局としても活動しています。

■ **社会への提供価値** 健康課題はITベンダーだけで解決できるものではありません。健康な街づくりをめざす企業や自治体との連携を拡大し、健康無関心層も楽しみながら自然と健康になるPHRサービスを起点としたモデルを提供します。これにより、医療費の適正化に貢献するとともに、誰もが健康で安心して暮らせる社会の実現をめざして挑戦を続けていきます。

3章 | Our Team | DSSの人

DSSの人

私たちは、世界に広がるたくさんのチームメンバーとともに、お客さまのビジネスを、そして社会を、デジタルの力で変革していきます。



Lead Digital Transformation, together with us



3章 | Our Team | ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンへの取り組み

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンへの取り組み

私たちは、日立のダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DEI)スローガン“Together, we are stronger”の下、Chief DEI Officerを設置し、DEIへの取り組みを積極的に推進しています。DEIをイノベーションの源泉、サステナブルな成長のエンジンと捉え、多様な人財が個々の能力を最大限に発揮でき、自然にイノベーションが生まれる組織カルチャーへの変革に向け、リーダー先導とボトムアップの活性化でさまざまな取り組みを実施しています。

日立のDEIスローガン Together, we are stronger

DEI目標の設定

個人目標の5%以上で設定を義務付け

DEIや組織カルチャー変革を自分ごととするため、下記の3カテゴリでの非財務目標を全社員に必須化。
DSSセクターでは、日立グループに先駆けて、2023年度に導入。日立グループでは、2024年度より開始しました。

組織や
チームの人財
の多様化

インクルーシブ
なカルチャー
醸成

グロス・
マインドセット
の醸成

ERG推進

DEIボトムアップ活動活性化

ERG(Employee Resource Group)は、共通する特性・価値観・目的を持つ従業員とアライが自主的に活動するグループです。2023年度にDSSセクターで正式にERG活動がスタートし、2024年度から全日立グループ(日本地域)へ活動を拡大。現在、6つのERGが活動中です。

LGBTQIA +

女性の選択肢とトータルウェルビーイング

男性の働き方 & 生き方改革

日本における外国人

若手従業員

キャリア採用者

DEIコミュニケーションの促進

DEI CaféやDEI Monthの実施

視野の拡大とネットワークの構築を目的に、従業員が気軽に知見や経験を共有し合うことができる“DEI Café”を毎月開催しています。
また、毎年一カ月間を“DEI Month”として、DEI推進や組織カルチャー醸成に関する多数のイベントやプログラムを用意することで、従業員の意識変革や行動変容へとつながる機会を提供しています。



DEIアンバサダーの設置

DEIや組織カルチャーを起点につながり、それぞれの部署やチームで活動を展開するために協働・協力していくネットワークをつくるため、DEIアンバサダー登録制度を設けています。

- 誰もが自分らしく仕事に向き合える環境
- 風通しよくスピークアップできる環境
- 日立がより強い組織になるための組織カルチャー

を構築・醸成することを目標として、カジュアル&フラット&クロスボーダーにつながり、さまざまな活動を展開することでDEIをボトムアップで推進しています。



DEIアンバサダー

500人以上 (2024年7月時点)



Chief DEI Officer

中田やよい

私たちは、社会イノベーション事業のグローバルリーダーをめざし、大胆な変革を推進しています。DEI推進を基盤とした「組織カルチャートランスフォーメーション」は、その変革の重要な一部であると考えています。なぜなら、従業員一人一人が自分らしく働き、仕事に高いエンゲージメントを保ちながら、個々の力を最大限に発揮できることがイノベーションを生み出す源泉だからです。そして、それこそが、サステナブルな成長と企業価値の向上に必要不可欠であると考えています。

“Diversity(多様性)”とは「一人一人に考え方や価値観の違いがある」という意味です。多様な考え方や価値観、経験やスキルを持つ従業員全員が、平等な機会を持ち、自分らしく働ける“Equity(公平性)”を担保できること。そして、その違いを生かして一人一人がイノベーションと成長につながる行動ができる“Inclusive(包括的)”な場づくり...それが私たちのDEIのジャーニーであり、終わりのない進化の過程です。私はこの旅路を多くの仲間とともに楽しみながら、まだ見たことのない未来を形づくる一部になりたいと強く願っています。

4章 | About Hitachi



4章 | About Hitachi | 日立グループの概要

日立グループの概要

日立製作所の概要

日立製作所は、1910年、創業者 小平浪平によって鉱山機械の修理小屋として誕生しました。創業以来、「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という企業理念の下、事業を通じてお客さまと社会の発展に寄与してきました。日立自身も、100年以上の時を経て、世界中の数多くの地域で、お客さまを、そして社会を支える企業グループへと発展しました。



取締役会長
代表執行役
東原 敏昭



代表執行役社長
兼CEO
小島 啓二

設立年月日 大正9年(1920年)2月1日(1910年創業)

連結子会社数 573社 (2024年3月末時点)

連結従業員数 268,655名 (2024年3月末時点)

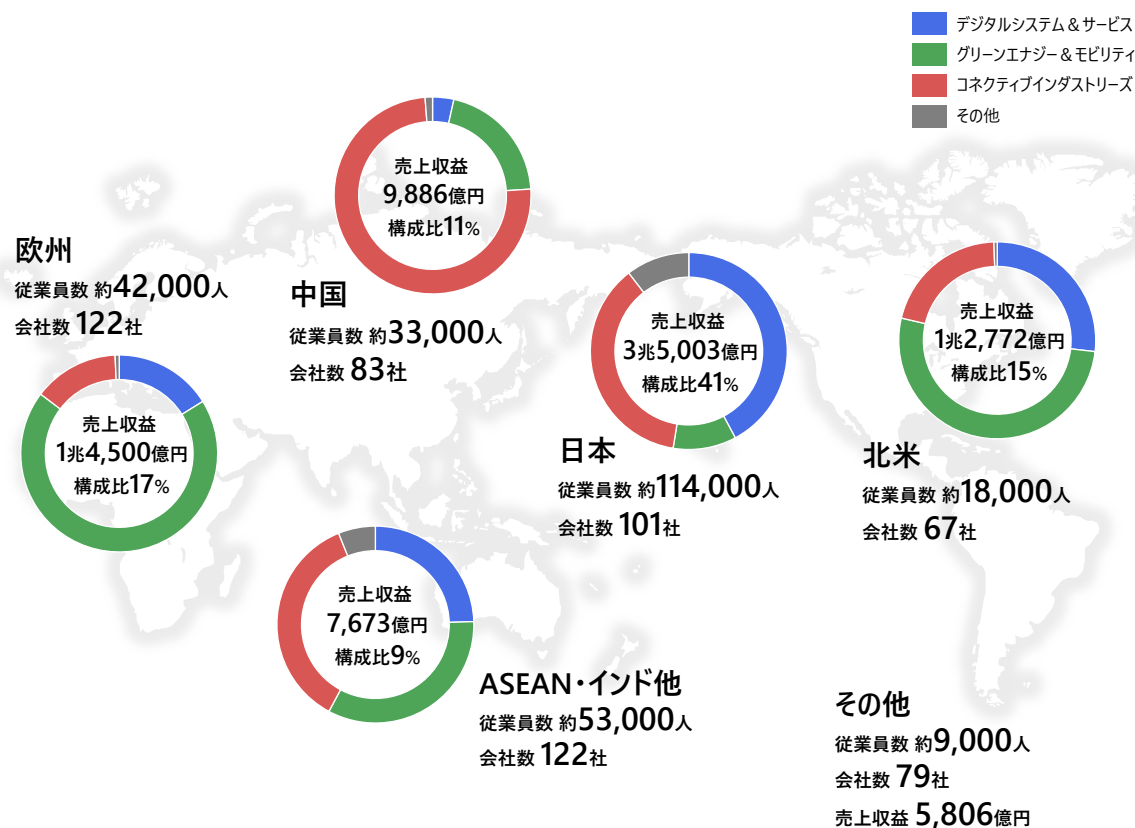
売上収益 8兆5,643億円* (2023年度実績 (連結))

Adj. EBITA(率) 8,674億円(10.1%)* (2023年度実績 (連結))

事業内容 IT、OTおよびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業提供

グローバルに広がる日立グループ(2023年度)

日立の売上収益は、59%が海外売上収益です。各地域・事業ごとに築き上げてきたグローバル事業ポートフォリオをLumadaと掛け合わせることで、グローバル展開をさらに加速し、社会イノベーション事業により創出・実現する価値を世界中に拡大していきます。



* 連結合計から、2023年10月に持分法適用会社化された日立Astemoの数値を差し引いた3セクターの数値。

4章 | About Hitachi | 日立グループ・アイデンティティ

日立グループ・アイデンティティ

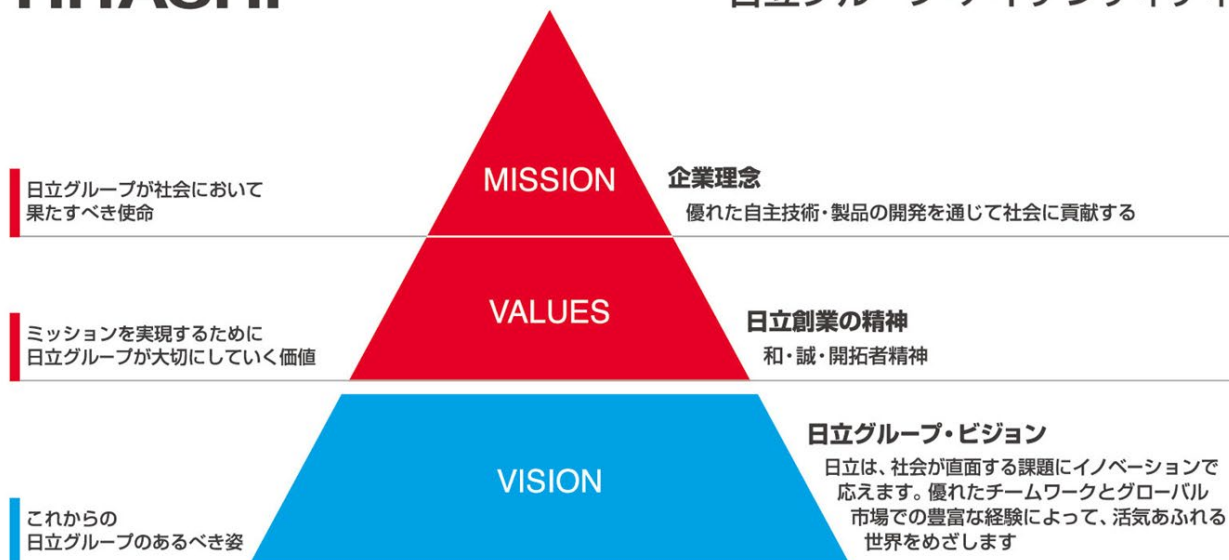
日立グループ・アイデンティティに基づいた企業活動の推進

日立グループ・アイデンティティは、創業者 小平浪平が抱き、創業以来大切に受け継いできた企業理念、その実現に向けて先人たちが苦労を積み重ねる中で形づくられた日立創業の精神、そしてそれらを踏まえ、日立グループの次なる成長に向けて、あるべき姿を示した日立グループ・ビジョンを、日立グループのMISSION、VALUES、VISIONとして体系化したものです。

私たちは日立グループ・アイデンティティに基づき、個人として、そして組織として成長し、世界中に広がる日立グループの従業員たちとともに地域や事業分野を越えて優れたチーム力を発揮することで、社会イノベーション事業を推進していきます。

HITACHI

日立グループ・アイデンティティ



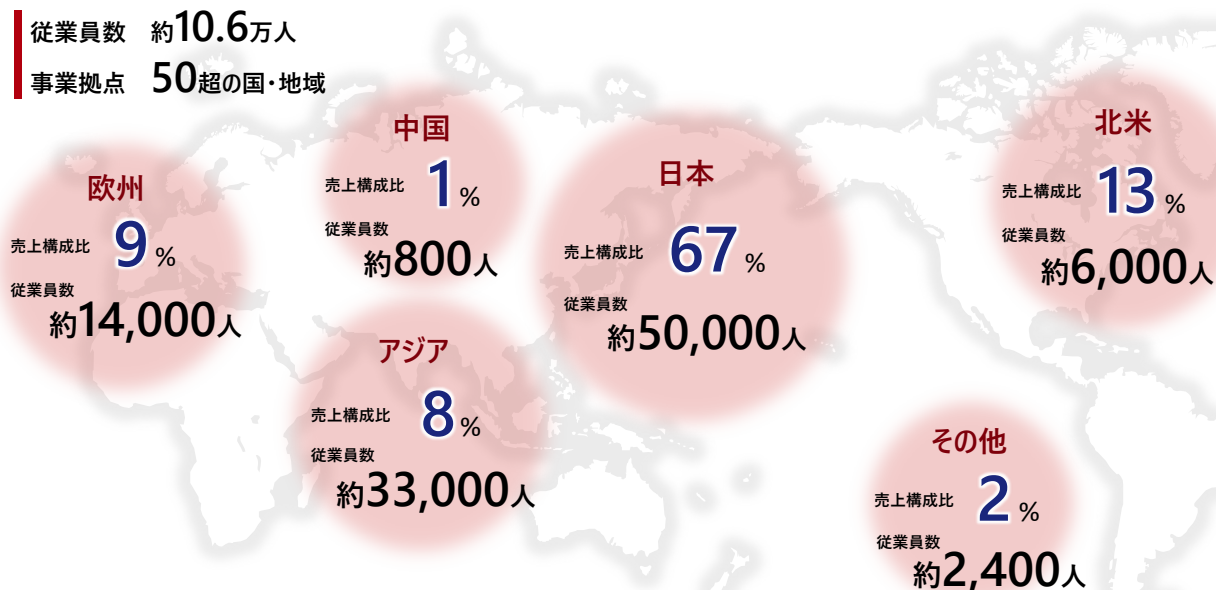
DSSセクターの基本情報

業績 (2023年度実績)

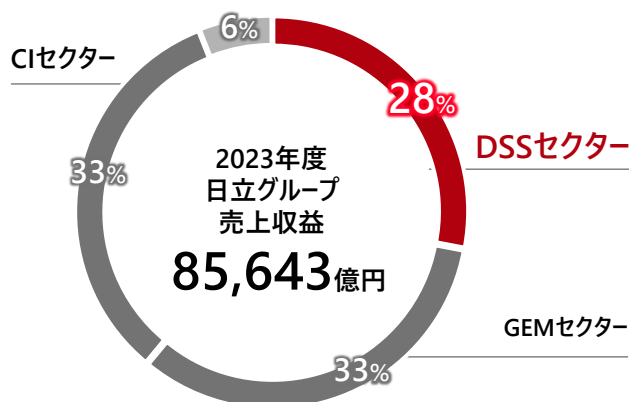
売上収益	2兆5,986億円
Adj. EBITA率	12.8%
Lumada事業の売上収益	1兆470億円

売上構成比・地域別従業員数

※売上構成比は2023年度実績、従業員数は2024年3月末時点



日立グループにおけるDSSセクターの売上構成比

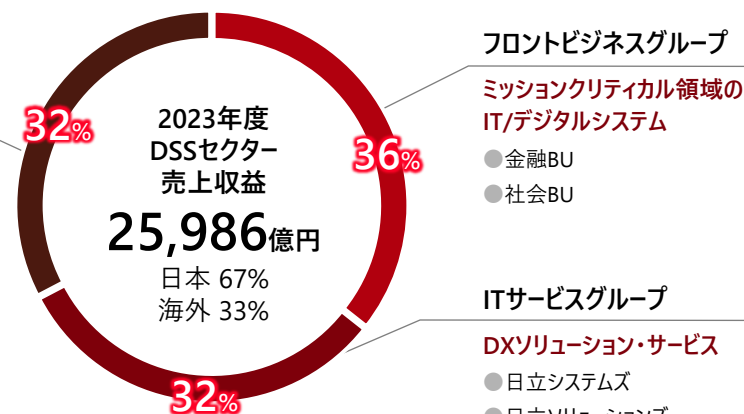


DSSセクターの事業構成

サービス＆プラットフォームグループ

Lumadaをけん引するデジタルエンジニアリングとクラウド関連サービスの提供
AIやアナリティクスなどに関わるデジタル技術の開発

- デジタルエンジニアリングBU
 - ・GlobalLogic
- クラウドサービスプラットフォームBU
 - ・Hitachi Vantara
 - ・Hitachi Digital Services



フロントビジネスグループ

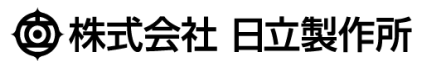
ミッションクリティカル領域のIT/デジタルシステム

- 金融BU
- 社会BU

ITサービスグループ

DXソリューション・サービス

- 日立システムズ
- 日立ソリューションズ



デジタルシステム & サービス セクター

〒140-8574 東京都品川区南大井六丁目26番1号

電話 03-3763-2411

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/>